「ＣＡＴＹ」の名前は､「ＣＡｍｐｕｓ」と「ｃｉＴＹ」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。
「地域との共生　社会に学ぶ」を合いことばに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

ニュース　キャティ
News CATY
２０１３年５月
第62号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町３－１－１
TEL0125-23-4111　FAX0125-23-5590
編集事務局長　平野富康

# 宿泊研修で絆深める

## 1泊2日 新入生多くを学ぶ

### 仲間との親睦や貴重な講義
### 学生として認識新たに

冬の寒さがまだ残る、ここ滝川で私たちの新生活が始まって1週間余りが過ぎました。今回の宿泊研修は、國學院生になった入学式の気持ちを忘れず、2年間この学び舎で生活していくにあたって、必要なものであったと思います。

その前夜、これからの学びや新たな発見、そして、さらなる成長への期待から、私の胸は高鳴っていました。

当日は、国文学科の友人たちと話をし、親睦を深めることができて、その楽しさが宿泊研修を充実したものとしました。さらに夕食後の講義では森先生が、昼間に参拝した神社での講話に話をつなげ、大変興味深い講義をしてくださいました。おそらく、ほかのどの大学よりも学生と先生の距離が近く、先生方が親身になって話を聞いてくださり、さまざまなアドバイスをいただいたと思いました。

それは、これから國學院で生活するにあたって非常に重要なことが多く盛り込まれていたのだと、研修が終わり、授業が再開して実感するようになりました。月岡先生がおっしゃっていた「私はこれがいいとか悪いとかは言いません。自分で見て判断してください」という言葉。そう、私たちはもう生徒ではなく、学生なのだ。自分で判断し、興味を持ち、見て、感じて、評価をする。それがこれから必要なことなのだと一層感じました。

國學院の一員になった私たちは、この学び舎で限られた時間でどこまでも成長できるのだと思いました。（国文学科1年／海谷達郎）

## 1年生と2年生が合同研修
## 相互理解を図る機会に

私たち児童教育コースは、4月23日・24日に深川の北海道立青年の家へ宿泊研修に行ってきました。児童教育コースは他のコースと違い、1年生と2年生が一緒に研修を行いました。

宿舎では、児童教育コースの主任である西出先生の挨拶を皮切りに、2年生の代表者が1年生に短大の行事、滝川での生活、編入や履修についての注意点などを説明しました。真剣な顔で話を聞く1年生を見て、去年は1年生としてこの研修に参加していた自分を思い出し、時の流れの早さを感じるとともに、2年生としての自覚も改めて持つことができました。

夕食をとりながらの交流会は、真面目で真剣な雰囲気とは一転し、和やかで楽しい雰囲気でした。自己紹介や校歌の練習などを通して、少しずつ1年生と2年生の距離が縮まったように思います。その後も、スポーツ交流や履修届の点検など、1年生と2年生がともに活動する機会が多く、この研修の目的である「児童教育コース1年生と2年生の相互理解を図る」を達成することができたと思います。

新しい土地や友人の中での生活、初めての一人暮らしなど、不安と期待でいっぱいの1年生。先輩方が卒業したことで徐々に2年生としての責任感と自覚が芽生え始めた2年生。1泊2日という短い時間ではありましたが、一人ひとりが成長できた研修だったと思います。

今後も、同じ夢を持つ児童教育コースの仲間40人で協力し合い、支えあっていきたいです。（幼児・児童教育学科児童教育コース2年／本多未来・森川きらり）

## 自分の進むべき道を再確認
## 1年後の自分に手紙も

1泊2日の宿泊研修は、地元の食材を多く使った美味しい夕食を食べることから始まりました。ジンギスカンやカニ汁など北海道ならではの物が数多くあり、本州から進学してきたみんなを喜ばせていました。校歌指導は、舛井先生の熱心な指導の元、國學院愛を歌声から伝えられるまでになりました。懇親会では、入学当初から怖いと思っていた先生が美味しそうにチョコパイを頬張るのを見て、怖かったイメージをなくすことができました。

普段は授業という場所でしか接することのなかった先生方と、近い距離で話をすることで、お互いを良く知ることができました。

2日目は、アイスつくり・作文・個人面談を行いました。個人面談では、自分の進路について、大学生活について先生と話をしました。自分の夢をかなえるため、どのように努力をしていくべきなのか、確認することができました。

次に作文ですが、内容は〝1年後の自分への手紙〟というものでした。来年の授業で実際に読み返されるこの手紙に、私は大学生活への期待と不安、目標を書き記しました。2年生になった私が、この手紙をどのような気持ちで読むのかが楽しみです。

この宿泊研修を通して、クラスメイト・先生方との親睦を深めることができました。これから2年間、共に過ごしていく仲間たちと目標に向かって前進していきたいです。（総合教養学科1年／遠藤奈菜）

## 施設など見学し目標明確に
## 目指す夢へと一歩前進

宿泊研修の1日目は、まだ春遠い新富良野プリンスホテルから始まりました。到着してすぐに夕食の時間になり、大きなテーブルを新しい友達と囲んで楽しくいただきました。講義の時間に入ると皆真剣な眼差しで話を聞いていました。足立先生からは翌日訪問する福祉施設の説明を受け、保育所実習に向けてのDVDも鑑賞。充実した実習となるように、普段から生活習慣などにも気を配らなくてはいけないことなども知りました。

グループディスカッションでは、それぞれが2年間の実習について考えたことを討議し、まとめ上げてグループ発表を行いました。様々な意見を聞き、私自身の今後の目標が明確になったような気がしました。

2日目は赤平の光生舎「虹の里」と「フーレビラ」を訪問。創業者の高江常男氏の半生と光生舎創業に至る経緯をDVDで見て、その崇高な志に胸を打たれました。また、卒業生が職員として働いていて、将来は私も先輩のような立派な社会人になりたいと思いました。職員の方々や利用者さんもとても明るく、元気に挨拶してくれたので私も自然に笑顔になりました。

この1泊2日でさまざまな経験をし、とても勉強になりました。私が目指している夢へと一歩前進できた気がします。すごく楽しい2日間でした！このあとの学校生活で、ここで学んだことを生かしていきたいと思っています。（幼児・児童教育学科幼児保育コース1年／金田彩花）

社会人から福祉専攻科に入学し、資格取得を目指す窪田さん（左）

## 介護の志 先輩に学ぶ

### 専門性高め資格を取得
### 社会が求める人材に

私は保育士資格を取得し、3年目で介護福祉士の資格を取得する為に今学んでいます。ほとんどの人が2年間共に学んだ仲間ですが、その中で窪田さん（平成11年幼児教育学科卒）は福祉専攻へ社会人入学をして、一緒に介護福祉士の資格取得を目指しています。そこで、入学してからずっと気になっていたことを窪田さんにインタビューしてみました。

まず私が一番気になっていた、なぜ社会人から専攻科へ入学しようと思ったのかを尋ねると、以前介護の現場で働いていたという窪田さんは「介護の専門性を高めたい、介護福祉士を持つ人材を施設側が要求しているため」と答えてくださいました。私はなるべく多くの資格を取りたいという単純な考えから専攻科への入学を決意しましたが、窪田さんの言葉は実際に社会人として現場で働いたことのある人だからこその考えだと感じました。

また、将来はどのような仕事に就きたいかを尋ねると「将来はケアマネージャーの資格を取得して地域で介護を必要としている高齢者とその家族を支えたい」と答えてくださいました。

先のことまで明確に丁寧に答えてくださり、私も就職活動前に自分の将来やりたいことについてしっかりと向き合っていこうという気持ちになりました。（幼児・児童教育学科福祉介護コース1年／石塚未恵）

## 地域とのつながりテーマに
## 6月21日から「第32回ありす祭」

第32回「ありす祭」を6月21日～23日にかけて開催します。今年のコンセプトは「Ｋｏｋｕｔａｎ＋」。いつもの國學院大學北海道短期大学部に楽しさや親しみ、地域も含めた繋がりをプラスしたいという学生会の願いが込められています。

企画内容ですが、今年も「マチロー大会」や、クイズ大会、カラオケ大会、お化け屋敷など多くの楽しいイベントを実施します。特に、マチローではありす祭限定の「國學院大學北海道短期大学部カード」を用意して皆さんのお越しをお待ちしています。例年行っている花火も21日に実施します。また、各サークルが出店する模擬店も滝川江部乙産のリンゴを使った手作りの「滝川産りんごスムージー」を提供するなど多彩です。その他、各サークルの展示なども多く予定されています。

本学同窓会も、昨年度小さなお子様とご父母に大変好評を頂いた「ふわふわドーム」と子育てサロン「ありす」を実施します。是非ご家族で遊びに来ていただきたいと思います。

このように今年度のありす祭も地域の皆さまにもご参加いただいて楽しめる内容をご用意しております。是非、足を運んでいただきたいと思います。（学生支援委員長／舛井雄一）

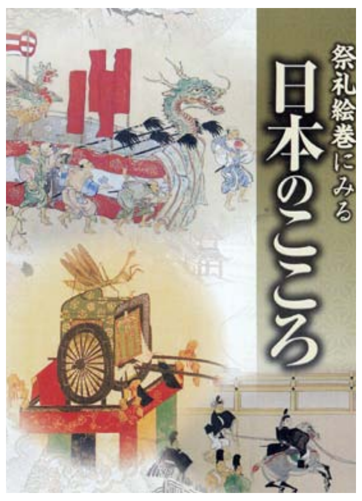
昨年の「ありす祭」のようす

## サマーフェスタ２０１３
## ６月17日から開催

「サマーフェスタ２０１３」が６月17日から23日にかけて、本学を会場として開催されます。

この期間中には、古典籍展「日本のまなざし～祭礼絵巻にみる日本のこころ」、古典芸能鑑賞会「狂言」、大学祭「ありす祭」を中心として、多くのイベントが催されます。

是非この機会に、大学に来てみてはいかがでしょうか。


祭礼絵巻にみる
日本のこころ

## 「祇園祭礼絵巻」など展示
### 6月17日から古典籍展

伝統的な日本の祭礼は、季節の訪れやその地域々々の特色を感じさせるものです。それは祭礼という場での華麗さや立ち居振る舞いに、人々が惹きつけられてきたからにほかなりません。正装した多くの人たちが行列をなし、神のもとへ向かい、神に付きそう様子は古くから注目を集め、その様子を絵巻という形で記録され今日まで伝えられてきました。

この展示では、京都の下鴨・上賀茂神社の祭礼を描いた「賀茂祭草子」、八坂神社（祇園社）で疫病を鎮めるために行われた祇園祭を描いた「祇園祭礼絵巻」、徳川家康の神輿が多くの武士の護衛のもとに行列をなして進んでいく日光の祭礼（千人行列）を描いた「日光祭礼絵巻」などが展示されます。

### 子育てサロン「ありす」

子育て中のお父さん、お母さん、お子さんのための広場です。お子さんを連れて、気軽に遊びに来て下さい。

対象者　おおむね０～４歳未満の子どもとその家族
参加料　１家庭あたり100円（保険料を含む）
申し込み　開催日の前日15:00まで（先着30人）

次回開催日　６月21日(金)
テーマ：おさんぽ

### 第1回目のオープンキャンパス開催
## 道内各地から大勢参加

第1回オープンキャンパスが5月18日に開催され、道内各地から多くの参加者がありました。参加者の皆さんははじめのうちは緊張していた様子でしたが、アイスブレイクというゲームをしてからは緊張もほぐれ、希望する学科ごとの模擬授業体験やパークゴルフ体験、学校生活について在学生と相談や校舎見学などを行いました。

お昼には、学生食堂で学生や教員達と触れ合いながら食事をし、午後は教職員と面談を行いました。参加者は大学の雰囲気を少しでも知ることができたのではないでしょうか。次回のオープンキャンパスは6月15日です。是非参加してみてください。

**◎平成26年度入学ガイドを配布しています。**

平成25年度
國學院大學北海道短期大学部
オープンカレッジ講座のご案内

1 あなたの想いを短歌に
全10回・10,000円／6月7日㈮～／14：45～16：15
国文学科准教授：月岡　道晴

2 書の美への誘い
全10回・10,000円／6月3日㈪～／13：05～14：35
はる展参加講座
国文学科講師：瀧野　幸三

3 絵画の制作
全10回・10,000円／6月3日㈪～／14：45～16：15
はる展参加講座
幼児・児童教育学科教授：黒阪　陽一

4 大人のためのクラシックピアノ
全10回・17,000円／6月11日㈫～／14：45～16：15
はる展コンサート参加講座
幼児・児童教育学科講師：田中有利子

5 さあ、歌いましょう！
全10回・17,000円／6月4日㈫～／14：45～16：15
はる展コンサート参加講座
幼児・児童教育学科講師：村中　朋見

6 日商簿記検定２級対策講座　全30回・30,000円　5月7日㈫～／18：00～19：30
7 日商簿記検定３級対策講座　全30回・30,000円　5月13日㈪～／18：00～19：30
8 ビジネス会計検定試験3級対策講座　全10回・10,000円　6月1日㈯～／9：15～12：25
総合教養学科准教授：舛井　雄一

9 子どもと英語で遊ぼう！大人のための幼児英語入門
全10回・10,000円／6月4日㈫～／13：30～15：00
幼児・児童教育学科：田中　冬子

10 強く美しくウエイトコントロール入門
全10回・10,000円／5月28日㈫～／14：45～16：15
幼児・児童教育学科准教授：田中　一徳

11 おもしろ俳句はじめ
全3回・3,000円／8月下旬予定／13：05～14：35
俳人：吉田　類

社会人を対象とした学びのスタイル
「國學院の学び」で、学習意欲を満たしてください。
学生として2年間じっくり学ぶ　国文学科、総合教養学科、幼児・児童教育学科
介護福祉士　国家資格を1年間で取得　専攻科福祉専攻
好きな科目を選んで学生と一緒に学ぶ　科目等履修生ー聴講生
※社会人入学者奨学制度（第一種・第二種）
授業料相当額の全額または半額免除制度あります。

國學院大學北海道短期大学部
コミュニティカレッジセンター
☎0125-23-4111
〒073-0014　滝川市文京町３丁目１番１号
FAX 0125-23-5590
ホームページ http://www.kokugakuin-jc.ac.jp